

学級活動学習指導案

令和3年10月 第5学年 指導者 坂本 陽一

1 単元名（題材名）「クラスのミニオリンピックをしよう」（第5学年・2学期）

2 学習指導要領上の位置付け

(1) 学級や学校における生活づくりへの参画

ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

学級や学校における生活をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。

ウ 学校における多様な集団の生活の向上

児童会など学級の枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、学級としての提案や取組を話し合っ

3 目標

クラスのミニオリンピックをする場面で、「一人一人が活躍できて、みんなが盛り上がるような種目や工夫」について話し合い、合意形成したことを協働して取り組むことを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 学級の課題を話し合っ

イ 学級の課題を見いだし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。

ウ 課題の解決や協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。

4 指導計画 ※別紙参照

5 本時の展開（1 / 1）

(1) ねらい

ミニオリンピックに向けて、「一人一人が活躍できて、みんなが盛り上がるような種目や工夫」を決める話し合いにおいて、「エブリ・ワン」シートを活用することを通して、自分の意見とともに、友達の意見のよさを生かす方法を考えて、合意形成をしていくことができるようにする。

(2) 展開

学習活動 ・予想される児童（生徒）の反応	時間	○指導上の留意点 ○研究上の手立て 評価項目<方法（観点）> 〔記〕記録に残す評価
1 はじめの言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の確認	5分	○東京オリンピックの写真を数枚提示しながら、みんなで協力して盛り上げていくよさを伝え、話し合いの意欲が高まるようにする。
〔議題〕 クラスのミニオリンピックをしよう。		
4 提案理由の確認		○決まっていることを確認する。
5 決まっていることの確認		①日時②場所③種目の数
6 話し合いのめあての確認		
〔めあて〕 一人一人が活躍できて、みんなが盛り上がるような種目や工夫を、より多くの意見のよさを生かして決めよう。		
7 話し合い 話し合うこと① 「個人種目と団体種目を、1つずつ決める。」 <個人種目> ・紙皿投げ ・靴とばし ・的当て <団体種目> ・風船はこびりレー ・フリースロー ・卓球 話し合うこと② 「一人一人が活躍できて、みんなが盛り上がるための工夫」 (ルール上のこと) ・1位～3位を決める。 ・4チームに分ける。 ・男女別にしたい。 ・審判がいたほうがいい。 ・予選と決勝をする。 (ルール以外のこと) ・メダルを作る。 ・みんなで応援する。	30分	○話し合いの時間確保のため、事前に書かれた「エブリ・ワン」シートをもとに、計画委員の児童に、予想される意見を事前に短冊に書かせておく。 ○児童の話し合いへの参加意欲を高められるよう、児童の考え、その理由や思いに対して、教師のコメント（助言や励まし）を書いた「エブリ・ワン」シートを返却しておく。 ○話し合いでは、各自の意見を発表させた後、「～という意見は、いいと思います。（または心配です。）理由は、～だからです」と、賛成または心配な点を発表させる。その際、賛成意見が出た意見の下にはピンク、心配な意見の下には水色のマグネットを貼らせ、比較の材料になるようにする。 ○一人一人の意見が生かされる話し合いになるよう、話し合うこと①では、「エブリ・ワン」シートを基に発表をさせ、話し合うこと②では、短時間で、ペアで相談させてから発表させる。 ○司会が進行に困った際にも、児童が主体的に対処して軌道修正ができるよう、「話し合いのめあてを、もう一度確認してもらおう」「司会から指名して発表してもらおう」等の対処法や、「それぞれの意見のちがいはどんなところですか」「～さんと～さんの、どちらの思いも生かすにはどうすればよいと思いますか」等の具体的な言葉掛けの例を、進行ヘルプカードに記載しておく。

<p>8 決まったことの発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人種目の紙皿投げは男女別にして、予選と決勝をする。 ・団体種目のフリースローは経験者を分けて4チームにする。 ・1～3位はメダルがもらえる。 ・団体種目は、メダルはチーム全員がもらえる。 	<p>◎自分と異なる意見も尊重し、話し合いのめあてに沿って折り合いを付けたまとめができるよう、「エブリ・ワン」シートの中の合意形成のプロセスの例を基に、どうすればより多くの意見や思いを生かした決定になるかを考えるよう助言する。</p> <p>○ノート記録の児童から、決まったことを発表させる。また、聞いている児童は「エブリ・ワン」シートに決まったことと、今回の話し合いで活用した合意形成の種類や、合意形成をする際にクラスとして大切にしたい考えを書かせるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>話し合いのめあてに沿って理由を明確にしなが ら発言したり、より多くの意見のよさを生かした 合意形成ができるように考えたりしている。 ＜「エブリ・ワン」シート・発言 (思考・判断・表現)＞〔記〕</p> </div>
<p>9 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人種目を、一人一人が活躍できるようにするために、〇〇さんが「男女別にする」という意見を出していたことがよかった。 ・団体種目で、みんなが盛り上がるようにするために、〇〇さんの「メダルはチーム全員がもらえるようにする」という意見がいいと思いました。 	<p>7分</p> <p>○次の話し合い活動につながるよう、学習支援ソフトを使い、お互いのよかった点を考えて共有する。その際に、発言の多さといった視点ではなく、お互いの意見や思いを踏まえて、二つの意見を合わせたり、条件をつけたり、納得の上で考えを変えたりといった、合意形成に関わる視点で振り返りをさせる。また、参考にさせたい前回までの振り返りのコメントを提示・紹介する。</p>
<p>10 先生の話</p> <p>11 終わりのことば</p>	<p>3分</p> <p>○集団として前回の話し合いより成長できたことなどを賞賛し、計画委員へのねぎらいや、決まったことの実践に向けた言葉掛けをする。</p>

6 板書計画

五年松組 学級会
議題 クラスのミニオリンピックをしよう

話し合いのめあて
一人一人が活躍できて、
みんなが盛り上がるような種目や工夫を、
より多くの意見のよさを生かして決めよう。

話し合うこと①
ミニオリンピックの種目

- ◎紙皿投げ (個人) ○○○●
- ・靴とぼし (個人) ○○○●
- ・的当て (個人) ●●●
- ・風船はこびりレ (団体) ○○○○
- ◎フリースロー (団体) ○○○●
- ・卓球 (団体) ○●●●

話し合うこと②
一人一人が活躍できて
みんなが盛り上げるための工夫

ルール上のこと

- ・1位と3位を決める。
- ・4チームにする。
- ・男女別にした。
- ・予選と決勝をする。
- ・審判もいたほうがいい。
- ・フリースローはバスケ経験者を分ける。

ルール以外のこと

- ・手作りメダルを作る。(団体種目は全員に)
- ・みんなに応援する。

決まったこと

- 個人種目の紙皿投げは男女別にして、予選と決勝を行う。
- 団体種目のフリースローは経験者を分けて4チームにする。
- 1と3位はメダルがもらえる。

指導計画 学級活動 第5学年 議題（題材）名「クラスのミニオリンピックをしよう」

目標	<p>クラスのミニオリンピックをする場面で、「一人一人が活躍できて、みんなが盛り上がるような種目や工夫」について話し合い、合意形成したことを協働して取り組むことを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 学級の課題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けられるようにする。 (知識及び技能)</p> <p>イ 学級の課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして形成を図り、協働して実践することができるようにする。 (思考力、判断力、表現力等)</p> <p>ウ 課題の解決や協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。 (学びに向かう力、人間性等)</p>		
評価規準	<p>(1) 「一人一人が活躍できて、みんなが盛り上がるミニオリンピックにするための種目や工夫」について話し合い、決まったことを友達と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。 (知識・技能)</p> <p>(2) 「一人一人が活躍できて、みんなが盛り上がるミニオリンピックにするための種目や工夫」について話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。 (思考・判断・表現)</p> <p>(3) 話し合いで合意形成したことを進んで協働したり、活動の中の互いの頑張りを認め合ったりしながら、よりよい学校生活や人間関係を築こうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>		
	<p>基本的な学習活動 ◇学級全体 ◆計画委員</p>	<p>主体的・対話的で深い学びの実現に向けた 授業等のポイント</p>	<p>・目指す児童生徒の姿 【観点】 (評価方法) 〔記〕 記録に残す評価</p>
事前の活動	<p>10月12日(火) ◆議題の選定を行う。(昼休み)</p> <p>10月13日(水) ◆活動計画(提案理由、めあて、話し合うこと、条件の確認)を作成する。(朝)</p> <p>◆話し合いの進行の仕方の確認(朝)</p> <p>◆話し合いの議題の発表と、学級活動コーナーへの掲示(昼休み)</p> <p>10月14日(木) ◇「エブリ・ワン」シートに自分の意見を記入する。(朝)</p> <p>◆予想される意見を事前に短冊に記入する。(昼休み)</p>	<p>○児童のつぶやきや気付きから、議題を選定できるように、最近、ニュースや話題になっていること、これまでの学級活動で楽しかったことなどを想起できるような言葉掛けをする。</p> <p>○話し合いを進める際の留意点や、予想される意見や対立への対処方法、合意形成に向けた意見の整理の仕方を確認し、主体的に進行できるように、話し合い進行シートを記入させる。</p> <p>○議題や提案理由を学級全体で共有し、話し合いへの意欲が高まるよう、話し合いの議題の発表と、学級活動コーナーへの掲示を行う。</p> <p>○自分の意見をしっかりとった上で話し合いができるよう、「エブリ・ワン」シートに自分の意見を記入する。</p>	<p>・よりよい学校生活を築くために進んで議題を選定し、話し合いの準備をしようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】(話し合い進行シート、発言)</p> <p>・「ミニオリンピック」への見通しや、自分の思いや考えをもって、意欲的に取り組もうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】(「エブリ・ワン」シート、発言)</p>
本時の活動	<p>10月20日(水) 第3校時</p> <p>◆話し合いの進行</p> <p>◇話し合い 話し合うこと① 「ミニオリンピックの種目」 ・個人種目 1種目 ・団体種目 1種目 話し合うこと② 「一人一人が活躍できて、みんなが盛り上がるための工夫」 ・ルール上のこと ・ルール以外のこと</p> <p>◇振り返り</p>	<p>○児童の話し合いへの参加意欲を高められるよう、児童の考え、その理由や思いに対して、教師のコメント(助言や励まし)を書いた「エブリ・ワン」シートを返却しておく。</p> <p>○自分と異なる意見も尊重し、話し合いのめあてに沿って折り合いを付けたまとめができるよう、「エブリ・ワン」シートの中の合意形成のプロセスの例を基に、どうすればみんなの意見や思いを生かせるかを考えさせる。</p> <p>○次の話し合い活動につながるよう、学習支援ソフトを使い、お互いのよかった点を考えて共有する。その際、発言の多さといった視点ではなく、お互いの意見や思いを踏まえて、2つの意見を合わせたり、条件を付けたり、納得の上で考えを変えたりといった、合意形成に関わる視点で振り返りをさせる。</p>	<p>・話し合いのめあてに沿って理由を明確にしながら発言したり、より多くの意見のよさを生かした合意形成ができるように考えたりしている。 【思考・判断・表現】(「エブリ・ワン」シート、発言) 〔記〕</p> <p>・合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解している。 【知識・技能】(「エブリ・ワン」シート、発言)</p>
事後の活動	<p>10月20日(水) ◆決まったことを学級活動コーナーに記入する。(帰りの会)</p> <p>10月26日(火) 第3校時 ◇ミニオリンピックの開催 ◇「ワン・アップトーク」を行い、「エブリ・ワン」シートに感想を記入する。(帰りの会)</p>	<p>○話し合いで決まったことや合意形成で大切にポイントが分かるように、計画委員に学級活動コーナーに記入させる。</p> <p>○「一人一人が活躍できて、みんなが盛り上がるミニオリンピック」というねらいを確認し、皆で協働できるようにする。</p> <p>○話し合いから実践までの自分や友達のよかった点を振り返り、認め合うための「ワン・アップトーク」を行い、児童が自分たちで決めて実践する充実感を感じられるようにする。</p>	<p>・「ミニオリンピック」を振り返り、自分や友達の頑張りに気付き、次の活動に生かそうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】(「ワン・アップトーク」の発言、「エブリ・ワン」シート)</p>